

おたかぎ 2025年4月号 第71号

社協だより

今号の内容

- ② 喬木村社協事業計画・予算／職員異動／ご寄付紹介
- ③ 喬木村社協事業内容／いきいきクラブの活動紹介
- ④ 地域のこと、みんなで考えまい会
だれでもランチ会／防災学習会
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ お知らせ／3か月の予定／職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス <http://takagi-syakyo.com/>
●印刷● 龍共印刷株式会社

＊春の宿題会



3月28日(金)にみんなの広場アスボで、小学生のお子さんを対象に宿題会を行いました。これは、宿題を通して地域の大人との多世代交流を行うことや、地域の方たちの活躍・生きがいの場を提供することを目的にしたものです。参加者は、1年生から6年生まで28名が集まり、宿題会の見守りとして、ボランティア6名が入りました。

学校や塾とはどこか違う和やかな雰囲気です、それぞれが宿題に取り組みました。「春休み帳はほとんど終わっているけれど今日は来たよ」と話す男の子や、恥ずかしそうに手を挙げる女の子に気が付き算数のヒントをくれる高校生ボランティア。そして大きな声で「せんせい!」とボランティアを呼ぶ高学年の男の子の姿に、私たち社協が続けていく意味を見出すことができました。「手を挙げるのがはじめは恥ずかしかったけれど、先生が分かりやすく教えてくれてうれしかった」と、話す子どもさんの言葉が、印象的でした。宿題会を終えた子どもたちは、ボランティアに笑顔でお礼を伝え、ボランティアと小学生にとっても、心に残る宿題会になりました。

【たかぎ社協だよりは、社協会費と赤い羽根共同募金の配分金が使われています】

令和 7 年度 喬木村社会福祉協議会事業計画・予算

令和 7 年度事業計画及び予算が去る 3 月 3 日理事会、3 月 28 日評議員会において承認されました。

社会福祉法人喬木村社会福祉協議会は「人は人で支えられ、安らぐ社会」の実現に向け、社会福祉事業と介護保険事業を通して、豊かな共同体が実現できるよう、地域共生社会形成に向けて努力してまいります。

家族の役割が変わる中、「介護難民を無くす」と「介護不幸ゼロ」の目標に向け、一人で住んでいても一人じゃないコミュニティづくりと、居場所づくりから、幸せの追求と重層的支援で信頼を得てまいります。

また、関係者・関係団体・行政と共に、役職員が責任のある行動で「美し郷」をめざします。

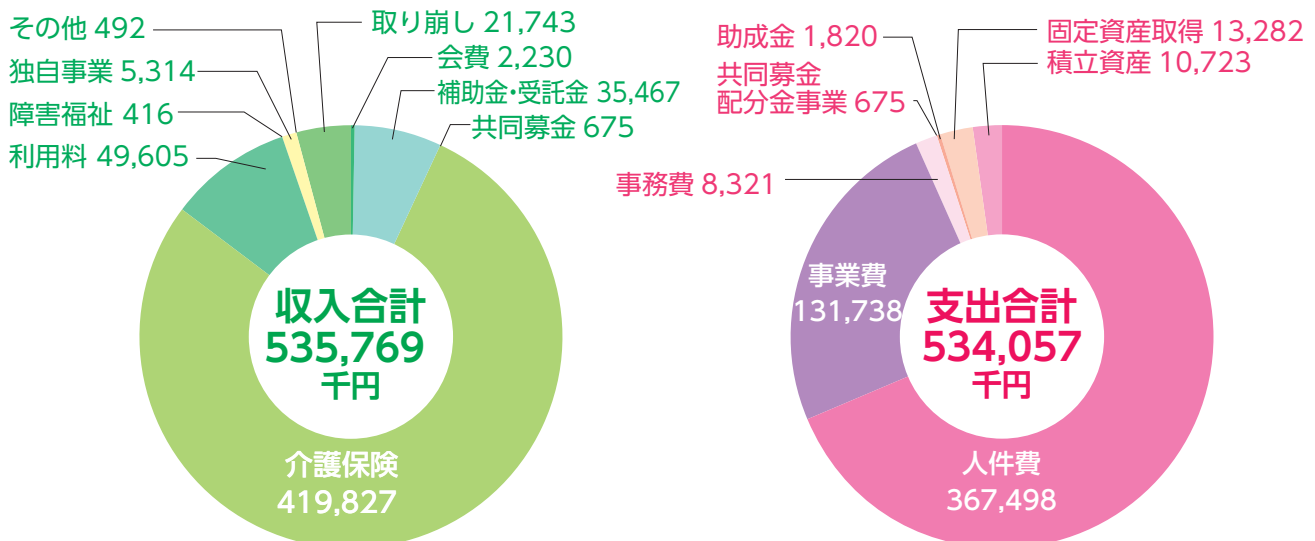
喬木村社協 会長 座光寺秀元

基本理念

「人と人との関わり」「人とのコミュニティとの関わり」「人と自然との関わり」を大切にし、自立と共生の権利を応援する社協

令和7年度 喬木村社会福祉協議会予算

(単位：千円)



退職 3月31日付			異動			採用 4月1日付			職員異動
喬木荘	後藤 香		事務局長	山崎 光則		喬木荘	杉田なずな		
			村田楠緒美				壬生さつき		
			喬木荘施設長			デイサービス	唐澤 明子		

ご寄付いただきありがとうございました。

地域からご寄付を届けてくださいました。大切にに使わせていただきます。

匿名 様… メロディーコンダクター 1 台
 喬木村婦人会 様…………… 金 7,000 円
 喬木村七宝焼教室 様…………… 金 1,300 円
 手作り小物 TOKI 様 …8,000 円 5,000 円
 はなぶさ学園 木下英幸様 … 石油ストーブ 1 台

匿名 様…………… 体重計 1 台
 原建築店 様…………… 金 100,000 円
 匿名 様…………… 金 10,000 円
 匿名 様…………… 金 10,000 円
 匿名 様…………… 紙おむつ等 一式

喬木村社会福祉協議会 令和 7 年度事業内容

在宅介護保険事業

「住み慣れた自宅で地域に暮らす馴染みの方々と、その人らしく生活を続けられるよう支援します」

- 居宅介護支援事業（ケアマネ）
- 訪問介護事業（ヘルパー）
- 通所介護事業
 - （デイサービスふれ愛 定員 30 名）
- 地域密着型通所介護事業
 - （宅老所ふれ愛 定員 10 名）
- 介護予防・日常生活自立支援総合事業
 - ・訪問介護及び通所介護にて受入れ
 - ・いきいきクラブ（AM：男塾：一般地域コース）
（PM：入浴コース）
- 障がい者総合支援事業
 - ・訪問介護、行動援護支援、福祉輸送

施設介護保険事業「特養喬木荘」

「利用者一人一人の尊厳を守り、その人らしい生活を支え、地域の人々が安心できる福祉施設をめざします」

令和 7 年度から変更

- 本 入 所 対象：要介護 3 以上 定員 58 名
- 短期入所 対象：要支援以上 定員 7 名

いきいきクラブの活動紹介



いきいきクラブでは午前中の交流コース、男性限定の男塾、午後の入浴コースを行っています。交流コースでは季節ごとの外出や、買い物、体操、お楽しみ会やランチを食べに行くなど様々な活動をしています。入浴コースは、個浴の浴槽で安心して入浴していただけるようにサポートしています。今後も楽しみながらわくわくした気持ちでご利用いただけるような活動を計画していきます。どのコースも送迎付きです。お問合せは 33-4567 まで。（事前に役場包括より訪問をさせていただきます）

地域福祉事業

□総合相談事業

- ①住民が抱える生活課題を受け止め、地域や関係機関と連携し、解決に向けた支援を行う。
- ②地域住民と共に支え合いの仕組みや資源開発を行う。

【総合相談事業】

- ・生活困窮者支援（まいさぽ一次相談窓口）
- ・権利擁護の推進（日常生活自立支援事業）
- ・子ども支援事業（学習・生活支援事業）
- ・子どもの居場所づくり支援事業
- ・貸付事業（生活福祉資金、くらしの資金）

【地域支援事業】

- ・地域住民と協働による社会資源の整備
- ・誰でもランチの開催
- ・生活支援・介護予防サポーター養成講座
- ・生活支援事業（喬木村おたすけ隊事務局）

□ボランティア

- ①ボランティアの拠点として、ボランティアセンターの整備充実を図る
 - ・ボランティアセンター運営委員会
- ②ボランティア活動者が主体となって、楽しみややりがいをもって活動できるよう支援する。
 - ・村内ボランティア活動の支援
 - ・ボランティア育成
- ③地域住民同士がつながり、支え合える地域づくりを推進する。
 - ・福祉教育の推進
 - ・住民グループ（サロン）活動への支援
 - ・認知症総合支援
 - ・各種福祉団体等事務局（結婚相談員会、高齢者クラブ連合会、身体障がい者福祉協会、遺族会他）
- ④災害ボランティアセンター機能の充実を図り、防災減災への取り組みを進める。
 - ・災害ボランティアセンター運営訓練や学習の実施
 - ・災害時要配慮者支援事業

□共同募金事業

- ・共同募金活動の実施 ・稲穂会
- ・希望の旅 ・福祉教育推進事業
- ・生活支援事業 ・ふれあい広場 等

□その他

- ・訪問理美容、寝具乾燥サービス
- ・配食サービス
- ・福祉用具、福祉車両貸出サービス

❀ 地域のこと、みんなで考えまい会 ❀

春の訪れが待ち遠しい 3 月 8 日（土）に、みんなの広場アスボで「地域のこと、みんなで考えまい会」を行い、村内外から 28 人が参加しました。これは地域の小さな困りごとを自分事として考えようと、県長寿社会開発センターの戸田千登美氏を迎え“ゆるやかなつながりで誰も孤立しない地域づくり”と題して地域の力を紹介したり、ミニグループワークをしながら話し合いました。戸田氏は「シニア世代こそ地域での主役。活躍の場を広げてほしい」と伝え、参加者からは「これならできるかものヒントがいくつも散りばめられていた。参加して良かった」と感想が聞かれました。これからも皆さんの声を聴きながら開催をしていきたいと思います。



だれでもランチ会



快晴の中、3 月 28 日に、みんなの広場アスボで「宿題会&だれでもランチ会」を行い、およそ 80 人が集まりました。この会は、食を通して地域の方と交流できる居場所作りを目的としています。ランチ会の準備では、朝から調理ボランティア 11 名が特製カレーを作ってくれました。ベテラン主婦の皆さんと高校生が調理を進めて、1 時間半ほどで、スパイシーな香りが漂うカレーができあがりました。宿題会を終えた、子どもたちは「家のカレーと同じくらいおいしい!」「カレーがトロツとして食べやすい」などと感想を聞かせてくれました。おかわりをする子も多く、時間前にご飯がなくなるハプニングもありましたが、ボランティアさんも、食べてくれた皆さんも笑顔になるランチ会となりました。



3 月 26 日には福祉センターで、児童クラブと放課後デイの皆さんおよそ 80 人にも「伊久間つなぐ会」の皆さんによりカレーが提供されました。ボランティアの皆さんのおかげで、こうして毎年ランチ会が開催できております。本当にありがとうございました。



防 災 学 習 会



2 月 18 日（火）に日本防災士会南信ブロック長の上野真由氏をお招きし、防災学習会を開催しました。上野氏は能登半島地震被災地を訪れて避難所支援を行った経験から、女性目線での避難所生活のプライバシーの確保や女性向け備蓄品の不足といった課題や平時からの災害の備えについて具体的な方法を講演いただきました。

実際に非常用トイレを使っの説明は、参加者の関心が高く、地区の備蓄として非常用の備えとして考えていきたいとの声もありました。災害時にトイレが使えずらかったり、汚れていたりするとトイレに行かないようになりやすく「食べない、飲まない」をすることによって体調を崩す原因となるため、改めて災害時のトイレの大切さを実感することができました。

災害は他人事ではなく、いつ自分たちの身に起こってもおかしくありません。日頃から備えておくことの大切さも考える学習会となりました。



たかぎボランティア・地域活動情報誌

さくみち



令和7年4月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター

Tel33-5520

fax33-5330

みんなで作ろう!折り紙教室 開催

ひな飾り作り!



「完成した可愛い作品を飾ることができました。」

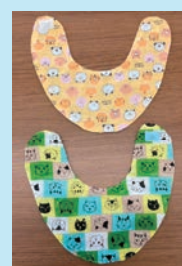
参加者からの感想

- 可愛いおひな様飾りが作れました。楽しく作れたので良かったです。
- おひな様の飾りが増えて玄関が賑やかになります。
- 折り紙教室も回を重ねて、折り紙友達ができそうな予感
- 指がこわくなってキレイにおしよれなかったけど素敵なおひな様が出来上がったのしかったです。

地域の方から『季節の飾りを折り紙で作りたい』という声から始まった折り紙教室。皆様のおかげで一年が経ちました。これまで、季節に合わせた作品を制作し、自宅に飾って楽しんでいただいています。最近では、新しい参加者の方も増え、和気あいあいとした雰囲気の中、素敵な飾りを作っています。子どもの日の飾りも予定しています。ぜひ、ご参加お待ちしております。

子育て応援!スタイ作成のボランティア募集のお知らせ

民生児童委員の見守り訪問にて生後2か月の赤ちゃんを対象に村から出産祝いのスタイを贈っています。地域の子育て応援としてスタイ作りにご協力いただける方を募集します。
スタイ作成用の型紙は用意しています。作成にかかる費用は村が負担します。ご協力いただける方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。



(完成見本)

令和6年度

飯伊ブロックボランティア交流研究集会の様子

2月8日飯田市勤労者福祉センターを会場に行われ、交流会と持ち寄り特産市場出店が行われました。喬木村からは8名のボランティアと手作り小物TOKIの手芸品の出店販売を行っています。大勢の方々が参加され、とても賑やかな集いの場となりました。交流会や出店を通して他の市町村のボランティア活動を知り交流することのできる良い機会となりました。



交流会の様子

手作り小物出店



令和
6 年度

1 個からできるボランティア活動

いつもペットボトルキャップ収集にご協力いただき、誠にありがとうございます。

令和 6 年度は、皆様のご協力により 362kg のペットボトルキャップが集まり、「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付させていただきました。この結果、開発途上国の子どもたち 109 人分のワクチンを贈ることができました。



喬木第一小学校のボランティア委員会では、ペットボトルキャップを集める活動を行っています。校内にポスターを掲示、全校放送での呼びかけを行い、たくさんのペットボトルキャップを集めることができました。今後も、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

長野県生活就労支援センター
「まいさぼ」をご利用ください。

長野県では、生活や就労などでお困りの方の悩みをお聞きし、関係機関と連携しながら支援を行う「長野県生活就労支援センターまいさぼ」を県下各地に開設しております。喬木村社会福祉協議会内にも「まいさぼ出張相談所」を開設しています。解決に向けて一人ひとりに寄り添いながら、一緒に考えサポートをしていきます。お気軽にご相談ください。

ご相談、お問い合わせは、喬木村社会福祉協議会 地域福祉係
☎ 33-5520 まで。



4 月の予定	結婚相談	19日 (土) 19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずな予防カフェ	22日 (火) 10:00~12:00	アスポ
5 月の予定	心配事相談	9日 (金) 10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	17日 (土) 19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	13日 (火) 10:00~12:00	アスポ
6 月の予定	なずな予防カフェ	27日 (火) 10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	6日 (金) 10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	21日 (土) 14:00~17:30	福祉センター談話室(予約制)
	なずなカフェ	10日 (火) 10:00~12:00	アスポ
	なずな予防カフェ	24日 (火) 10:00~12:00	アスポ

職員のついで

花のつぼみも膨らみ始めあちこちで春の便りが聞かれる季節となりました。ここで少し現在 85 歳の義母の話をして下さい。義母は大変働きもので 80 歳まではお菓子屋の店員としてお勤めし、その傍ら畑で大根やジャガイモ、白菜、なす、キュウリ、トマト、ブロッコリーなど季節のおいしい野菜をたくさん作ってくれました。しかし、階段から落ちて両手首を骨折してからは、畑は地主さんにお返しし、それからは玄関先で好きな花を色々育てていました。ところが、昨年 11 月頃より体調を崩し、外での作業ができなくなったため、ほとんどの鉢植えを処分してしまいました。家の中でできることは限られていますが、それでも塗り絵をしたり、数独に四苦八苦したり、最近では新聞紙で作る手提げ袋作りに凝っていて、どうすれば丈夫に作れるか試行錯誤しながら、取り組んでいます。そんな義母の傍らの窓辺には、室内に避難させたシクラメン、デンマークカクタス、クラッスラ、子宝草など多肉植物たちが温かい日差しを浴びて気持ちよさそうに咲いています。温かくなり、まただんだんと花たちが増えていく予感がします。願わくばこの幸せな時間が少しでも長く続きますようにと思う今日この頃です。＜ M.K ＞



ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

